

4月の配架図書（その3）

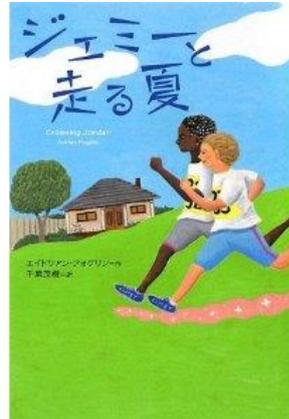
■ ジェミーと走る夏

エイドリアン・フォゲリン/作

千葉茂樹/訳

出版社：ポプラ社（**中学生**から）

キャスの家のとなりに、同い年のジェミーが引っ越してきた。2人の少女は、走ることが好き。でも、仲良くすることをお互いの親から反対されてしまう。なぜならジェミーが黒人だから。また一緒に走りたい！2人の願いはかなうのか。



■ ごきげんなすてご

いとう ひろし/作・絵

出版社：徳間書店（**低中学年**から）

三ヵ月まえ、弟がやってきた。弟の顔はおさるだった。でもお母さんは弟ばかりかわいがる。それならいいよ、あたしはすてごになって、すてきなおうちにもらわれるから…。家出した女の子が、「すてご仲間」になった犬、ねこ、かめといっしょに大活躍！ 小さなお兄ちゃん、お姉ちゃんたちの心をきゅっつつかんだ、人気の幼年童話です。



■ あたまにつまった石ころが

キャロル・オーティス・ハースト/文

ジェイムズ・スティーブンソン/絵

千葉茂樹/訳 出版社：光村教育図書

（**高学年**から）

子どものころから石を集めるのが大好きだった父は、おとなになって働くようになっても石集めを続けました。みんなから相手にされなくても、ひとりでコツコツと。やがて、そんな父が博物館の館長さんにみとめられる日がきたのです！



■ つばさをもらったライオン

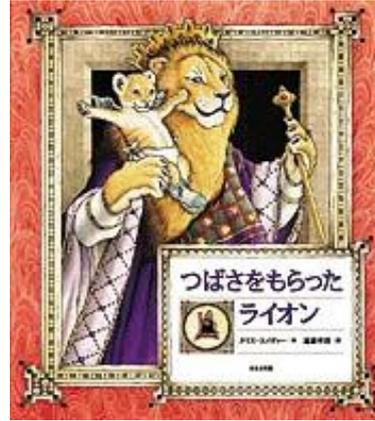
クリス・コノヴァー/作

遠藤育枝/訳

出版社：ほるぷ出版（**低学年**から）

金色のたてがみのレオ王には、ひとつ気になることがありました。北に住むオットー王の宮殿の壁に、なにやらふしぎな宝物がならんできると言われていることです。そんなレオ王に、つばさをもった王子が生まれました。

そのつばさで飛んでいった先で、生まれてはじめて本というものを読んでもらった王子は……。本の可能性、そして言葉のたいせつさを伝えてくれる絵本。



■ 友情リアル YA! アンソロジー

はやみねかおる[ほか]/著

出版社：講談社（**中学生**から）

中2になっても野球部で球拾いをしているぼく。ある日、レギュラー目前に問題を起こして部を辞めた直樹君が「野球やろうぜ」と声をかけてきた。なんでぼくを誘うんだろう？（打順未定、ポジションは駄菓子屋前）男子の友情物語4作品収録。

